

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



～平和と希望への祈り～

広島交響楽団 第354回定期演奏会
The 354th Subscription Concert



ヴァイオリンソロ&コンサートマスター
:フォルクハルト・シュトイデ
Violin Solo & Concert Master: Volkhard Steude

2015 **11.10** 火

18:45開演(17:45開場)

Tue Nov 10 2015 Start 18:45(Open 17:45)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

ウィーンフィル・コンサートマスター、シュトイデ〈運命〉の再会

モーツァルト: 歌劇「魔笛」K.620～序曲

Mozart: Die Zauberflöte K.620～Overture

メンデルスゾーン: ヴァイオリン協奏曲ホ短調Op.64

Mendelssohn: Violin Concerto in E minor Op.64

ベートーヴェン: 交響曲第5番ハ短調Op.67「運命」

Beethoven: Symphony No.5 in C minor Op.67

※本公演は全曲指揮者無しで演奏いたします。

チケット(税込/全席指定): S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)


エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器
ローンチケット(Lコード:66404)・チケットぴあ(Pコード:251-978)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売

チケット発売日: 一般プレイガイド 2015年9月10日(木) / 広響事務局 2015年9月10日(木)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主 催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

プレミアム協賛 /  廣文館

後 援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、

テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、広島リビング新聞社



広響公式ホームページ ▲



ウィーンフィル・コンサートマスター、 シュトイデ〈運命〉の再会

通常アンサンブルの演奏は、四重奏や五重奏…多くても10数名でしょうか。しかし今回はフルオーケストラでのアンサンブル。奏者はより感覚を研ぎ澄まし、これまで培ってきた感性の全てを捧げ、自ら音楽を奏でます。そして「運命」の終楽章では、60名をこえるアンサンブルが一気に花開きます。オーケストラをリードするのは、世界最高峰のウィーンフィル・コンサートマスター、フォルクハルト・シュトイデ。創立50周年定期以来2年ぶりとなる〈運命〉の再会です。



〈ヴァイオリンソロ&コンサートマスター〉
フォルクハルト・シュトイデ
Violin Solo & Concert Master: Volkhard Steude

1971年ライブツィヒ生まれ。5歳より東ドイツ(当時)ブランデンブルク州コトブスの音楽学校でヴァイオリンを学ぶ。1987年に東ドイツのジュニア向けコンクールで第2位獲得。1988年からベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてヨアヒム・シュルツとヴェルナー・シュルツ教授の下で学び始める。国際コンクールで受賞を重ねる。

1993年にはグスタフ・マーラー・ユゲントオーケストラの第1コンサートマスターになる。1994年3月にベルリンの大学でディプロム取得の後、ウィーンに移り、アルフレート・シュタル教授の下で更に研鑽を積む。

1994年11月にはウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに弱冠23歳で就任。更に2000年からはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを務めている。

日本にはトヨタ自動車主催による『トヨタ・マスター・プレイヤーズ・ウィーン』のコンサートマスターとしても度々来日しており、多くのファンを獲得している。また、ウィーン・フィルでは、ジュゼッペ・シノーポリやダニエル・バレンボイムの指揮によりソリストとしても共演しているほか、ヨーロッパと日本で数多くのソロ活動を展開(ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と三重協奏曲、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲ホ短調と二重協奏曲二短調、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲イ長調と二長調、シンフォニア・コンチェルタンテ、シベリウスのヴァイオリン協奏曲、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲など)。その多くが放送用にライブ録音され、またCDとしてリリースされている。

室内楽にも熱心に取り組んでおり、2002年からはウィーン・フィルのメンバーで構成される室内楽アンサンブル、ウィーン・ヴィルトウオーゼンのコンサートマスターも務める。また同じく2002年にシュトイデ弦楽四重奏団が結成され、ウィーン楽友協会定期演奏会を開催するほか、ヨーロッパ内及び日本で度々ツアーを行うなど、その活動は非常に注目を集めている。

使用楽器は1718年製のアントニウス・ストラディヴァリウス(ヴィオッティ、ロゼらがかつて所有)で、オーストリア国立銀行より貸与されている。

次回定期演奏会 2015 12.15 火・16 水 第355回特別定期演奏会 広島文化学園HGBホール 18:45開演(17:45開場)

被爆70年 特別定期《All for Peace》

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調K.216

マーラー 交響曲第5番 嬰ハ短調

エイジ・オオウエ、広響定期再登場です。《被爆70年 HIROSHIMA 2015》の特別追加公演として、12月に今季限定の特別定期演奏会を、同一プログラムによる2夜公演として開催します。広響第一コンサートマスター、佐久間聡一との初コンチェルトとともに、ベートーヴェンの精神を受け継ぐマーラーの「第5」シンフォニーを。

全ては平和のために!



〈指揮〉大植 英次



〈ヴァイオリン〉佐久間 聡一

あなただけの
マイシート

後期定期会員募集中!

全3公演

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円
お申し込みは広響事務局までお電話ください。(9月16日から2016年1月22日まで受付)